

平成12年の東海豪雨や平成20年8月末豪雨を始め、近年、河川や下水道の能力を超える大雨により、浸水被害の発生する可能性が高まっています。また、東日本大震災では想像を超える大津波により、東日本の太平洋沿岸の広大な範囲に甚大な被害をもたらしました。この蟹江町標高マップは、豪雨による水害や地震発生時の津波による被害を防ぐため町内の標高および現時点における避難所などを表示しました。この地図を参考に自宅や勤務先等の標高を確認し、水害や津波被害時の避難場所や避難経路をご家庭や地域の皆さんと話し合い、日ごろから災害に備えてください。

※この地図で示しているのは標高であり、津波の遡上高シミュレーション結果等を反映したものではありません。



洪水・内水被害から身を守る

[警戒レベル③、④]が発令された地域にお住まいの方は、速やかに避難してください。

【警戒レベル3】 避難準備・高齢者等避難開始

避難行動要支援者など避難に時間を要する方が避難を開始しなければならない段階

避難行動に支援が必要な方、避難に時間を要する方及び支援をされる方は、避難場所へ避難してください。通常の避難行動ができる方は、避難準備を整えてください。

【警戒レベル4】 避難勧告

避難場所へ速やかに避難してください

避難行動が危険と判断される場合には、屋内安全確保を行ってください。

【警戒レベル4】 避難指示(緊急)

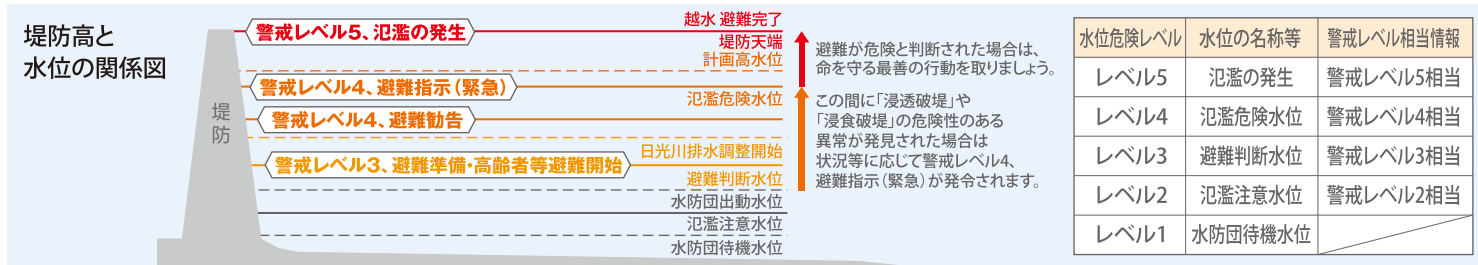
直ちに避難しなければならない段階

避難場所へ直ちに避難してください。避難行動が危険と判断される場合には、屋内安全確保を含めて直ちに命を守る行動をとってください。

【警戒レベル5】 災害発生

既に災害が発生している段階

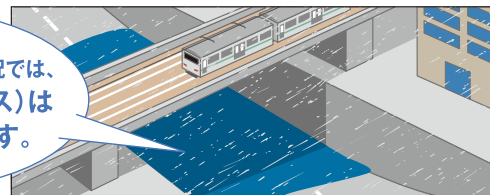
直ちに命を守るための最善の行動をとってください。



蟹江町の日光川、蟹江川、福田川などの河川周辺地は、大雨時や洪水が発生した場合には、氾濫水の排水をすることができなくなることがあります。特にマップ中のの箇所は、道路の地下道「アンダーパス」を示しており、周辺の地盤より低いところを通っているため危険性の高い箇所となります。冠水時には地下道「アンダーパス」を利用しないでください。

- 1 西之森地下道・・・県道津島・蟹江線 (JR交差点)
- 2 八幡地下道・・・一宮・蟹江線 (佐屋川橋下)
- 3 芝切横断地下道・・・芝切交差点近く
- 4 新蟹江小東地下道・・・新蟹江小学校東側
- 5 蟹江地下道・・・蟹江小学校南側
- 6 日光川防災道路地下道・・・県道平和・蟹江線 (近鉄交差点)

道路が冠水するような状況では、**地下道(アンダーパス)は危険箇所となります。**



津波被害から身を守る

津波予報の種類

気象庁は、地震発生から約3分を目標に、津波警報等を発表します。

予報の種類	解説	発表される津波の高さ
大津波警報	3mを超える津波が予想されます。	5m、10m、10m超
津波警報	1mを超え、3m以下の津波が予想されます。	3m
津波注意報	0.2m以上、1m以下の津波が予想されます。	1m
津波予報	0.2m未満の海面変動が予想されます。	留意事項等を発表

大規模地震が発生

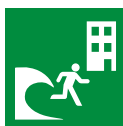
【津波避難のポイント】

蟹江町全域が津波災害警戒区域に指定されています。南海トラフ地震等により伊勢湾に津波警報、大津波警報が発表された場合、避難指示(緊急)が発令されます。避難が危険な場合には、垂直避難等の屋内安全確保により、命を守る行動をとってください。

南海トラフ地震が発生した場合・・・蟹江町では**90分後に海拔30cm**の津波が予想されています。また、堤防の崩壊、決壊等による浸水が予想されています。

避難所等を目指して

予想外の津波から逃れるために緊急避難所など付近の予想される津波の浸水深より高い所に避難して下さい。



◀緊急避難場所はこのマークが目印です。

●徒歩で避難を

原則として、車で避難をするのはやめましょう。車での避難は渋滞を引き起こし、かえって避難の妨げになります。

●海岸や川沿いには近づかない

地震の後には、護岸や堤防が被害を受けている可能性があり非常に危険です。決して近寄らないようにしましょう。

●寄り道はしない

津波からの避難には一刻を争います。家のことを心配して引き返したり、貴重品などを取りに戻ったりせず、まっすぐ避難先に向かしましょう。

津波避難 3原則

- ① 想定にとらわれない
- ② 最善を尽くせ
- ③ 率先避難者になれ